

慶祝と蓬萊図

1 鶴寿蓬萊図 高谷篁圃

一幅

大正十四年（一九二五）

絹本着色

本紙二二八・九×四二・二

大正十四年（一九二五）の大正天皇の御結婚二十五年を祝って、作者の高谷篁圃（一八七〇〜？）より献上されたもの。背景を鮮やかな赤色として、蓬萊山を表し、その蓬萊山を甲羅に背負った巨大な霊亀を金泥で描く。蓬萊山の松に舞い降りようとしている上空の鶴は、群れて「寿」の文字の体をなしている。落款も金泥で記され、その下には百字の「寿」の字を並べた「百寿」印が捺されている。まさに吉祥の意を前面に押し出した作品と言えよう。

「東山絵所」と落款に付した作家の篁圃は、本名を竹治郎、京都に住し、日本美術協会を中心に活動した。昭和三年（一九二八）の大札においても、富士を背景に麒麟、鳳凰、霊龍、神亀の四神を描いた《鳳龍亀呈瑞祥図》（当館蔵）を献上している。



- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

寿ぎの品々を読み解く

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 75

編集 宮内庁三の丸尚蔵館
制作 株式会社 東京美術
翻訳 黒川廣子
発行 宮内庁
平成二十九年一月七日発行

© 2017, The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan